



社会福祉法人 恩賜財団 済生会和歌山病院

〒640-8158 和歌山市十二番丁45番地

TEL. 073-424-5185

FAX. 073-425-6485

ホームページ: <http://www.saiseikai-wakayama.jp/>



済生会

わかやま

NEWS

第29号

発行日: 2015.1



～ 理念 ～

私たちは、地域社会に親しまれ、
信頼され、患者さんも職員も元気が
出る病院をめざします。

患者さんの権利と責務

1. 平等に良質で適切な医療を受ける権利があります。
2. 医療に際して十分な説明を受ける権利があります。
3. 検査・治療等に際してそれを受ける事を自己の判断のもと承諾あるいは、拒否する権利があります。
4. 医療のどの段階においても他の医師や医療機関の意見を求める権利があります。
5. 自己の病状について情報を得る権利があります。
6. 自己の病状について個人的情報の秘密を守られる権利があります。
7. 医療に関する苦情を申し立てる権利があります。
8. 良質な医療を実現するために、自己の健康状態に関する情報を正確に伝える責務があります。
9. 治療費を支払う責務があります。
10. 良好な療養生活を守るために、定められた諸規則を守る責務があります。
11. 医師・看護師や病院職員の指示に従う責務があります。

「医療情報システム」

済生会和歌山病院 院長 松崎 交作



新年あけましておめでとうございます。平成27年（2015年）が始まりました。

本年もよろしくお願ひ申し上げます。

平成15年から、当院は移転を機にオーダリングシステムを導入し、その後段階的に電子カルテ化を図り、さらにフィルムレス化をすすめました。これらのシステムの導入は完了しましたが、電子カルテシステムがやや時代遅れになり、その機能がニーズに徐々に応じられなくなってきたため、平成26年2月にはさらに最新の電子カルテシステムおよび部門システムなどを新しく入れ替えました。現在はこれらのシステムを駆使し、安全安心の医療を提供できる体制になっています。

電子カルテには多くの利点があり、患者さんの状態や検査結果等どんな場面でもデータ化が可能で、とくにそのメリットの1つとして、院内の各部署で情報が共有化されることが挙げられます。また人間の単純ミスに対する様々な警告システムも備わっており、さらに患者一人一カルテが構築されることなどその利点は大きいです。またDPC対象病院になってからの提供用データの処理効率化についても電子カルテシステムは欠かせないツールとなっています（DPC：診療報酬の包括評価制度）。しかし以前の紙カルテに比べると、コンピュータウイルスによる感染や不正アクセスによる情報漏洩などを防止するためのセキュリティの必要性があることなどが電子カルテシステムの難点であります。しかし24時間いつでも、どの電子カルテの端末からも患者の所見と検査や投薬などの診療状況を見ることができ、又、これらの機能は常に安定した電気の供給があることで成り立っており、そのため平成26年3月には、2カ所の変電所から電気の供給を受けている当院の受変電発電設備工事を新たに行いました。

今、当院では、電子カルテシステム、放射線画像システム、各部門システムなど各システムのサーバ（大型コンピュータ）17台が動いています。これらはより安心安全で効率的な医療に欠かせないものです。しかし、さらに「満足」の医療を提供するのはコンピュータではなくコンピュータを使いこなす「人」そのものです。いつも患者と向き合えるスタッフが病院の評価を高めてくれると考えています。

本年もよろしくお願ひいたします。

～ 糖尿病パス入院について ～

糖尿病・代謝内科 部長 英 肇

あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひ申し上げます。

昨年は、新しい糖尿病治療薬が発売され、ますます治療の選択肢が増えてきました。しかし、選択肢が増えても、糖尿病のコントロールがうまくいくとは限りませんし、むしろ複雑化した分、より難しくなったといえるかもしれません。

糖尿病の治療の基本は、昔も今も変わらず、食事療法です。しかし、現代人の生活は、昔と同じとはいかず、生活・社会上のストレスに加え、一見筋の通っていきそうな健康理論やすばらしい効果をうたう健康食品など、医療情報が氾濫しています。こういった情報の中から、必要なものを選び出し、療養を続けていくことは、並大抵のことではありません。

当院の糖尿病治療の基本は、まず生活習慣の聞き取りから始まります。一律に食事時間と必要カロリーを決めるのではなく、現在のその患者様の生活リズムをお聞きし、お仕事と食事のバランスをとりながら、実行可能な食事療法、薬物療法を探っていきます。

このためには、短い外来の診察時間では対応困難ですので、出来れば2週間のパス入院をお勧めします。毎週水曜午後に入院していただき、2週目の火曜に退院する、14日間のパス入院です。入院中に眼科検診、蓄尿による腎機能評価、神経機能検査を行います。ABI、頸部エコーによる動脈硬化の有無や腹部エコーによるスクリーニングもあります。管理栄養師による栄養指導、薬剤師による薬物の説明、理学療法士による運動療法の指導が行われ、入院第2週の木曜には、その患者様に関わったすべての職種と主治医を含む糖尿病・代謝内科医師全員によるカンファレンスもたれ、患者様の問題点や退院後の指導について話し合います。その結果を踏まえ、土日に試験外泊していただき、実際にその生活が可能かどうか、考えていただきます。この2週間の入院を通して、患者様ご自身の、漠然とした「食べ過ぎたらいかん、運動せんといかん」が、実行可能な具体的な行動に移せるようになると、糖尿病のコントロールが劇的に改善します。

基本的には、パス入院後は、御紹介いただいた先生方に通院していただくこととなりますが、一度感覚をつかんでいただいた患者様は、良好なコントロールを維持される方が多いと思います。また、外来で6ヶ月毎に、コントロール状態と合併症の評価を行う、地域連携パスも行っています。2014年一年間で、こういったパス入院の患者様を44名ご紹介いただきました。もし、コントロール困難な患者様があられましたら、御紹介いただければ幸いです。



糖尿病・代謝内科 医師
〈左から：荒古・玉川・英・巽〉



糖尿病教室

～ 栄養管理科のご紹介 ～

栄養管理科副技師長 原田 玲子

栄養管理科では、本年、管理栄養士2名入職され、管理栄養士3名、栄養士1名、調理担当者19名の総勢23名で栄養管理業務と給食管理業務を行っています。給食は直営なので、調理師が美味しい給食を目指し、日夜頑張っています。

栄養管理では、栄養指導、栄養サポートチーム（以下NST）活動を中心に業務を行っています。栄養指導は昨年550件の個人指導と集団指導を行ってきました。集団指導には毎月行われている糖尿病教室があり、年に1回は調理実習も行います。肝臓病教室では年1回調理実習を含む集団栄養指導を行っています。また、個人指導では、外来患者と入院患者に対し、月曜日から金曜日まで行っています。また、他院より御紹介頂いた患者さんへの栄養指導を月曜日・金曜日の15時より開始しております。御紹介いただいた糖尿病患者さんへの指導は、糖尿病療養指導士が担当させていただいております。

当院は、日本静脈経腸栄養学会より、「NST稼動施設」と「NST専門療法士認定教育施設」の認定を受けています。NST専門療法士認定教育施設の役割として、現在、多くの受講生を受け入れ「日本静脈経腸栄養学会認定資格 NST専門療法士」の受験資格取得に必要な40時間の講義や実習を行っています。現在まで、21名の受講生を受入ました。また、当院は、NST加算施設基準の認定を受け、医師・管理栄養士・薬剤師・看護師・臨床検査技師・言語聴覚士・作業療法士の多職種によるNST回診を行っています。常に栄養管理科は患者に喜ばれる食事と、患者に沿った栄養指導を心がけて、頑張りたいと思います。よろしくお願いいたします。



診療技術部長と栄養師



調理師スタッフ



調理師スタッフ

～ 赴任のお知らせ ～

1月1日より赴任しました畑田充俊（はただ あつとし）と申します。

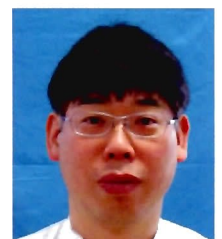
前任地の国立和歌山病院外科では、脈管疾患・胸部疾患を診療しており、脈管疾患は動脈、静脈、リンパ管、胸部疾患では主に呼吸器を診ておりました。

動脈疾患で、血管内治療、外科的治療（バイパス術、血管形成術）、ハイブリッド治療（血管内治療と外科的治療を同時に行う）を行います。

また、動脈瘤に対する人工血管置換術を行います。

静脈疾患では、下肢静脈瘤に対する血管内治療、外科的治療（ストリッピング術、結紮術、内視鏡下結紮術）、硬化療法を、深部静脈血栓症・肺動脈血栓塞栓症に対する血栓溶解療法、下大静脈フィルター留置術、静脈拡張術（ステント留置術）を行います。

微力ながら、和歌山地域の皆様に喜んでもらえるような良い医療を提供できるようがんばります。宜しく願い申し上げます。



濟生会和歌山病院外来診療予定表

(平成27年2月1日現在)

区分		月	火	水	木	金
内科	消化器内科	山原 邦浩	河野 尚宏	山原 邦浩	合田 杏佑	川口 雅功
		合田 杏佑	—	川口 雅功	—	河野 尚宏
	糖尿病代謝内科	—	玉川 えり	—	巽 邦浩	—
		巽 邦浩	英 肇	荒古 道子	英 肇	荒古 道子
循環器内科	—	辻岡 洋人	—	—	—	
	尾鼻 正弘	大鹿 裕之	尾鼻 正弘	辻岡 洋人	大鹿 裕之	
脳神経外科	山家 弘雄	仲 寛	山家 弘雄	仲 寛	林 靖二	
	三木潤一郎	—	越道慎一郎	三木潤一郎	—	
外科	—	高垣 有作	—	—	—	
	重里 政信	—	重里 政信	—	中村 恭子	
	—	—	ストーマ外来	—	—	
心臓血管外科	畑田 充俊	—	栗山 雄幸	栗山 雄幸	畑田 充俊	
整形外科	山東 茂樹	原田 悌志	新患診	松崎 交作	瀧口 登	
	瀧口 登	山崎 悟		山崎 悟	原田 悌志	
	西山 大介	—		西山 大介	—	
リハビリテーション科	医大応援医師	湯田 啓之	湯田 啓之	湯田 啓之	湯田 啓之	
耳鼻咽喉科	—	—	医大応援医師	—	—	
腎センター	—	—	—	岡本 昌典	—	
眼科	金 桂洙	宮本 武	—	森井 智也	白井 久美	
皮膚科	上中 智香子	—	—	山本 有紀	—	
泌尿器科	—	—	曲 人保	—	柑本 康夫	

※外科、高垣有作はリンパ浮腫外来となります。

【受付時間】 午前（全科）8時30分～11時00分（但し、予約患者は除く）

- *腎センターは木曜日午後 保存期外来を実施。
 - *月曜日午後1時から予約制で禁煙外来を行っています。
 - *眼科は水曜日休診となっております。
 - *水曜日はストーマ外来を実施しています。
- (予約制・初診の方は紹介状が必要です)

*当院では予約診療を行っているため、予約無しで来院された場合は、紹介状を持参されていてもお待ち頂く場合がございますのでご了承ください。



診療案内

診察日：月～金曜日

受付時間：午前8時30分～午前11時（但し、予約患者はこの限りにあらず）

休診日：土・日・祝祭日（年末年始）

面会時間：月～金曜日 午後2時～午後7時 土・日・祝祭日 午前10時～午後7時



交通案内

- JR和歌山駅から和歌山バス約10分「京橋」下車、徒歩すぐ
- 南海和歌山市駅から和歌山バス約5分「京橋」下車、徒歩すぐ

地域医療連携室

TEL (073) 424-5186 FAX (073) 424-5187